

地域の実情と課題

春日井市の女性の年齢別労働力率は、国や愛知県と比較するとM字カーブを示すくぼみの部分がやや深くなっているが、そのくぼみは年々浅くなっており、就業を継続する女性が増加していることがわかる。働く意欲があるが育児、介護を理由に離職した女性や、自分の強みを生かして起業を目指す女性に対して、実践的な講座の開催や経営に関する情報提供など、より具体的な女性の活躍推進の支援を図る必要がある。

事業の特徴

近年企業の広報活動にとって必要不可欠となったLINEの使い方を学び、仕事につなげるための連続セミナー。
第1回 LINEの基礎知識
第2回、第3回 LINEを作ってみる

事業の効果

・講義だけでなく、実践を取り入れたことで、受講生の疑問や悩みを解決することができた。

目的・目標

【目的】女性の多様な働き方を支援するため、仕事内容、実施方法、ウイルス対策、ビジネスマナーなどテレワークに必要な知識を学ぶセミナーを開催する。
【目標】15人を定員として募集したところ、定員を超える申し込みがあった。

連携団体

春日井商工会議所：セミナーを共催し、市内4,000事業所強の会員企業に対して講座を周知した。
春日井市経済振興課：窓口でのチラシの設置協力を依頼した。
近隣市：チラシを配付し、周知広報に協力を仰いだ。
起業セミナー受講生：セミナーの情報を提供した。

今後の課題

・受講生のスキルにばらつきがあったことから、コースを設けたり、各回の内容で住み分けるなどの工夫を検討する必要がある。

事業の概要

○テレワーク入門セミナー

女性の多様な働き方を支援するため、LINEの使い方を学び、仕事につながるよう支援する。

【日時】令和6年1月30日、2月13日、2月27日 午前9時30分から正午まで

【参加人数】受講16人、延べ受講者44人

【アンケート】ほとんどの受講生がセミナーに満足したと回答。事業にLINEを活かすための知識の習得ができたと言える。

主催 春日井市 共催 春日井商工会議所

女性向け

LINE を仕事で活用しよう

公式 LINE の作り方・運用の仕方